

平成 27 年 度 学 校 目 標 設 定 報 告 書 (定時制)

| 学校目標 | 取 組 の 内 容 | |
|--|--|--|
| | 具 体 的 な 手 立 て | 評 価 の 観 点 |
| 〈教育課程〉 (1) 多様な生徒のニーズに対応した教育課程の研究。 (2) 三修制を希望する生徒への支援を充実させる。 | (1) 技能審査等の学校外における学修による単位認定の見直しを図り、生徒のニーズに応じた単位取得が可能になるよう工夫する。 (2) 3年間で卒業を希望する生徒に対して、ガイダンス等を通じ、「高等学校卒業程度認定試験」「技能審査」等の理解を深めさせ、実現に向けた支援を行う。 | (1) 単位認定の見直しができたか。(担当者による評価) (2) 三修制を希望する生徒の卒業率を上げることができたか。(卒業生数の推移) |
| 〈生徒指導・支援〉 (1) きめ細やかで粘り強い生徒指導に取り組み、生徒の規範意識の醸成を図ると共に、様々な課題を抱える生徒に対する組織的な支援体制の確立を図る。 (2) 自主的活動を促進する生徒支援の視点に立った学校づくりを推進する。 | (1) ①日頃の生徒指導を通じ、生徒のマナーやモラルの向上を図る。 ②校内外巡回指導を強化し、安全安心な学習環境を整える。 ③本校の「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止に努め、生徒間の円滑な人間関係の構築に向けた支援をする。 ④様々な課題を抱える生徒に対して職員全体で情報共有し、外部機関との連携を図りながら支援体制の確立を図る。 ⑤多文化教育コーディネーターや外部機関と連携し、日本語を母語としない生徒の支援体制を確立する。 ⑥インクルーシブ教育に向けた準備を進めていく。 (2) ①生徒の学校行事や部活動等への主体的な取組みを通じ、自己肯定感や自己有用感を高められるような支援体制を構築する。 ②外国につながる生徒との共生・共働等を通じた多文化教育を推進し、グローバルな人材の育成を図る。 | (1) ①生徒が基本的な生活習慣を身に付け、ルールを守り、学校生活を送ることができたか。(特別指導件数の推移) ②巡回指導を通じ、問題行動を未然に防ぐことができたか。(特別指導件数の推移) ③速やかな情報収集と早期対応ができたか。(担当者による評価、生徒対象アンケート) ④職員全体で生徒の状況を把握し、組織的な支援ができたか。(担当者による評価) ⑤日本語を母語としない生徒に対して支援ができたか。(担当者による評価、生徒対象アンケート) ⑥研修や外部連携ができたか。(担当者による評価) (2) ①生徒の学校行事や部活動等に対する自主性・主体性を高めることができたか。(担当者による評価、部活動加入者数による推移) ②異なる文化を持つ生徒相互の交流を通じ、多文化について理解を深めることができたか。(担当者による評価、生徒対象アンケート) |

| | | |
|---|---|---|
| <p>〈学習指導・授業改善〉</p> <p>(1) 主体的な学びに向けた組織的な授業改善を推進し、基礎基本的な学力の定着と学習意欲の向上を図る。</p> <p>(2) 進学を希望する生徒のニーズに応じた取組みを推進する。</p> | <p>(1) ①授業において基礎基本的な学力の定着を図ると共に、「思考力」「判断力」「表現力」等を育むための工夫を行う。 ②ICTやグループ学習を取り入れた授業づくりに対する研究を組織的に行き、生徒の学習に対する興味関心や主体性を向上させる。</p> <p>(2) 進学希望者に対して夏季集中講座や補習等、進路実現に向けた取組みを充実させる。</p> | <p>(1) ①生徒の基礎学力、「思考力」「判断力」「表現力」を伸ばす授業ができたか。(担当者による評価、授業評価アンケート) ②組織的な授業改善ができたか。生徒の授業に対する満足度を高められたか。(担当者による評価、授業評価アンケート)</p> <p>(2) 進学希望者の合格率を上げることができたか。(進学率の推移)</p> |
| <p>〈キャリア教育〉</p> <p>さまざまな環境にある生徒を全体で支援する体制を築き、生徒の希望や能力に即した進路指導と計画的、系統的なキャリア教育を推進する。</p> | <p>(1) 進路に関する積極的な情報提供等を通じ、生徒一人ひとりの希望に応じた進路指導を行う。</p> <p>(2) 「総合的な学習の時間」を基軸とした系統的・計画的なキャリア教育（シチズンシップ教育を含む）の充実を図る。</p> <p>(3) 校外の就業体験学習（インターシップ）や会社見学、上級学校見学を通じ、勤労観、職業観の育成を図る。</p> | <p>(1) 生徒に的確な情報提供、進路指導を行うことができたか。(担当者による評価)</p> <p>(2) 生徒一人ひとりの勤労観・職業感の育成が図られ、進路決定者の割合が増加したか。(進学率の推移、生徒対象アンケート)</p> <p>(3) 外部機関による説明会や就業体験学習（インターシップ）を効果的に実施できたか。(担当者による評価、生徒対象アンケート)</p> |
| <p>〈地域等連携〉</p> <p>家庭・地域と連携し、問題行動の未然防止や早期対応に努めると共に、「協働」「共育」により安全安心な学校づくりを目指す。</p> | <p>(1) ホームページやメール配信システムを利用し、保護者や地域に対し、速やかな情報提供を行い、教育活動の見える化を図る。</p> <p>(2) 保護者・地域・警察等と連携し、事故の未然防止に向けた取組みを強化する。</p> <p>(3) 地域パトロールや美化活動等、地域貢献活動を積極的に行う。</p> <p>(4) 保護者や地域の教育力を生かした行事等の実施を検討する。</p> | <p>(1) ホームページの更新がスムーズにできたか。(担当者による評価)</p> <p>(2) 保護者・地域・警察等と連携がとれたか。(担当者による評価)</p> <p>(3) 地域貢献活動ができたか。(実施状況)</p> <p>(4) 地域や保護者との協働による教育活動ができたか。(担当者による評価、保護者による評価)</p> |
| <p>〈学校運営・学校管理〉</p> <p>(1) 事故・不祥事防止に努め、地域・保護者に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>(2) 生徒の防災意識を高め、安全対策強化につとめる。</p> | <p>(1) ①事故・不祥事防止に対する研修等を通じ、職員全員が高い意識を持つと共に、何でも相談できる風通しの良い職場環境を整える。 ②成績処理、調査書作成、会計処理等について点検体制を強化し、さらなる事故防止に努める。</p> <p>(2) 地域等と連携し、防災教育を推進するとともに、防災マニュアルについて必要な改善を行う。</p> | <p>(1) ①研修等を通じ、職員の意識を高めることができたか。(担当者による評価) ②点検体制を強化し、事故・不祥事ゼロを実現できたか。(担当者による評価)</p> <p>(2) 生徒に対する防災教育を実施できたか。(担当者による評価)</p> |
| <p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <p>1 人格を重んじ個性の伸長をはかる。 2 円満な人格を育成し協調の精神を養う。 3 日本国民としての自覚を喚起し進んで国際親善の精神を養う 4 公共の福祉と人類の幸福とに貢献する素地を作り上げる。 5 真理と正義とを愛し民主的文化国家建設の基盤を築く 6 学問芸術に対する情熱を喚起しその充実をはかる。 7 意志強固で実行力に富む人物をつくる 8 健康に留意し心身の調和的発達をはかる 9 勤労と責任を重んじ自主・自律の習慣を身につける 10 明朗闊達で気品のある風格と豊かな情操とを養う。</p> | | |